

坂戸市立坂戸中学校学校だより

～生徒が主体で笑顔が輝く居心地のいい学校～

坂中だより

令和7年5月2日(金)

教育目標:「**自立のための自律** 学ぶ 思いやる 鍛える」

経営方針:「判断基準は**生徒のためになっているか**」

すべては生徒のために フットワーク、ヘッドワーク、チームワーク

〒350-0214 坂戸市千代田 1-3-1 TEL049-283-0219 校長 田中 孝次

「主体的・対話的で深い学び」を目指す…4人組の学びを通して

今年度も本校では坂戸市の方針に沿って授業の充実を図るために、4人組での学びを通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた不断の授業改善に取り組みます。

時代は、「高品質・大量生産型の社会」から、「変化が激しく予測困難、グローバル化社会」へと変貌を遂げています。教育においても、「一律・一斉(受動的)、正解主義・知識偏重、詰め込み」教育から、「個に応じた教育、主体的な学び、多様な他者と協議し問題解決」教育へと変化しなければならないところがあります。社会が変われば教育も変わらなければならない(不易と流行)です。教師が一方向的に話して書いて、生徒は黙って座って教師の話を聴き、黒板をノートに写し、ひたすら正解を求める反復練習ばかり行う時代は過去のものです。

興味を持ち進んで教科書・資料、友だち・教師から学ぶ(主体的・対話的学び)。答えが一つでない問い、簡単には辿り着けない問い、正解まで何通りも道筋がある問いなど様々な課題に向き合いより深い理解、探求心、創造性(深い学び)を育む。このような学びから、一人一人が自立した学習者となっていきたいのです。



4人組での学習に慣れて軌道に乗ってくると、まず基本的課題の個人作業でわからない生徒が「ねえ、これどうするの?」と問いを発するようになります。その問いに答える生徒は、つまづいている生徒が何につまづいているか理解し、その生徒がわかるように説明しなければなりません。そしてその援助の言葉からわからない生徒は懸命に考えるようになります。教師の一斉授業では「教えた気になる」、「聞いていればわかった気になる」ことが非常に多いです。しかし、4人組の協同的な学びに関して、「ねえ、これどうするの?」の問いかけから始まる対話では、わかっている生徒は自分の答え方について「わかり直し」を体験することになります。わかって自分でできるレベル、わかって人に説明できるレベル、わかっていることを教えることができるレベル、さらにわからない生徒からの問いかけに援助ができるレベルなど、わかっている子の側がさらに恩恵を受けることが多々あります。そのようなことから、このような学習を積み重ねると、発展的な課題では、逆に基礎・基本に立ち返り、「こういうことだったのか」という学びにつながる場面が増えていきます。「基礎・基本→発展」の図式がすべてではないことが現実となって現れるのです。

また、このような学び方から互いの気持ちや考えを尊重し、自他を尊敬し合う関係が築かれていきます。私たち教員も、そのような授業への対応をするべく、日々の教材研究や生徒と生徒をつなぐタイミングや生徒の学びを見取る授業力を向上させるべく毎日の授業や研修に励んでいます。

聴き合う学級に:「ねえ、これどうするの?」「わからないから教えて」

聴き合う学級に:「わたしこう思うけど」「あなたはと思う?」

学校運営協議会を開催・・・学校経営のパートナーとして

4月22日(火)第1回学校運営協議会を開催しました。今年度は小中連携を見据え、坂戸小学校、南小学校の校長先生に新たに委員に加わっていただきました。全クラスの授業参観後に、今年度の学校経営方針を承認いただきました。今年度も坂戸中の心強いパートナーとして「居心地のいい学校」づくりにご協力よろしくお願いいたします。

《学校運営協議会委員の方々》敬称略 会長 村田千鶴(主任児童委員) 副会長 前田翔也(PTA 会長)
委員 市川大(牛歩会会長) 委員 石橋 健一(女子栄養大准教授) 委員 塩澤陽子(元 PTA 副会長)
委員 谷口義明(坂戸小学校長) 委員 河野裕一(南小学校長) 委員 田中孝次(校長) 委員 松本康彦(教頭)

部活動本入部・・・1年生の本入部にあたり

1年生の部活動本入部が済み、本格的に活動が始まりました。中学校に入学して、部活動を楽しみにしていた1年生も多いと思います。この時期は部活動も含めた中学校生活全般に慣れる時期です。始めてみて、やはり自分には合わないなと感じた時には、学校にご相談ください。場合によっては、転部・退部をすることがあるかもしれません。それは違反でも変なことでもありませんし、成績等には一切関係ありませんのでご心配なく。

部活動に関する基本方針として以下のような文面を毎年この時期に掲載しています。



元帝京大学ラグビー部監督の岩出雅之教授は、かつて大学選手権9連覇を成し遂げました。その時のモットーを本校の部活動でもぜひこうありたいと考えています。

- 新入生は、新環境への適応に多くの心理的エネルギーを費やす。用具の出し入れや鍵の管理など雑用は上級生が担当することで、1年生に心理的余裕ができ、上級生へ信頼感と、一体感も生まれる。
- 下級生は、上級生の行動を吸収し、蓄積し続けると、やがて上級生のように行動できる人物となる。
- 人はモチベーションが最も高まるのは、内側から湧いてくる興味や楽しさを感じる時である。自分自身が心から楽しいと感じられる活動であってほしい。

5月の主な行事予定 (諸活動終了時刻 17:45 最終下校時刻 18:00)

1日	木	生徒朝会、委員会日	2日(金)	部活動保護者会	14日	水	通信陸上大会	15日(木)	委員会日、内科検診
3日(土)	祝	憲法記念日、4日(日)	祝	みどりの日	21日	水	体育祭予行、委員会の日		
5日(月)	祝	こどもの日、6日(月)	振替休日		22日	木	体育祭準備	24日(金)	体育祭
7日	水	埼玉県学力学習状況調査3年			27日	火	歯科検診	28日(水)	PTA集金日
8日	木	埼玉県学力学習状況調査2年			29日	木	中間テスト①、30日(金)	中間テスト②	
9日	金	埼玉県学力学習状況調査1年、教育相談			6/3	火	生徒朝会、教育相談		
12日	月	体育祭ウィーク、心臓検診1年			6/4	水	生徒総会		
13日	火	学校朝会			6/12(木)	入間北部学校総合体育大会	～14日(土)		

◎坂戸中生活の基本「あじみこし」：挨拶・時間・身だしなみ・言葉(心)遣い・姿勢

◎スクールカウンセラー来校日：5/2(金)、9日(金)、16日(金)、23日(金)、30日(金)